科目名称:	情報リテラシー (美術学科)	
担当者名:	高田 康子	
区分	授業形態	単位数
基礎教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
現代社会で要求されているリテラシー能力の基礎を学び、「情報の真偽を判断する能力」、「情報を適切に活用する能力」、「情報を安全に活用する能力」を育む。		
授業の達成目標・到達目標		
1. 社会人基礎力を身に付け、様々な側面から物事を思考・判断・表現するための幅広い知識を養う。 2. 情報を主体的受け取り、適切・安全に活用する能力を養う。 3. 表現力や感性を養い創造性、コミュニケーション、視覚的リテラシーなどの能力を身に付ける。		

基礎教育科目	ディプロマポリシー (卒業認定・学位授与の方針)	重点項目
DP (1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し他者との信頼関係を築いていくことができる。	○
DP (2)	様々な課題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化する社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。	
DP (3)	専門的な知識や技能を修得し、それぞれの分野において、これらを柔軟に活用していくことができる。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
全学DP (1)			60	40	100
全学DP (2)					0
全学DP (3)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容 (内容・経験年数を記載)	
なし	《内容 1》	《経験年数 1》
	《内容 2》	《経験年数 2》
	《内容 3》	《経験年数 3》
	《内容 4》	《経験年数 4》

備考

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
知識・理解 自己の適性や能力と、専門分野の学びの基盤となる教養の知識を理解できる	自己の適性や能力と専門分野の学びの基盤となる教養の知識を深く理解している	自己の適性や能力と専門分野の学びの基盤となる教養の知識を理解している	自己の適性や能力と専門分野の学びの基盤となる教養の知識を理解しようとしているが、やや不足している	自己の適性や能力と専門分野の学びを理解できていない
思考・判断・表現 専門分野に基づく自己の将来構想について、おおよそその見通しが持てる	専門分野に基づく自己の将来構想を思い描くことが出来、見通しが持てる	専門分野に基づく自己の将来構想を思い描くことが出来る	専門分野に基づく自己の将来構想について、理解しようとしているが、やや不足している	専門分野に基づく自己の将来構想とは何かを理解できていない
課題の探求、発見、追究、解決という一連のプロセスを達成する能力を身につける	課題の探求から解決にむけた能力が十分身につけている	課題の探求から解決にむけた能力が、ある程度身につけている	課題の探求から解決にむけた能力を身につけようと努力しているが、やや不足している	課題の探求から解決にむけた能力が身につけていない
多様性を理解し、現代社会の変化や諸問題について主体的・積極的に判断し、対応できる	多様性を理解でき、現代社会の諸問題に対して主体的・積極的に判断し取り組んでいる	多様性を理解でき、現代社会の諸問題に対して主体的・積極的にある程度判断し取り組んでいる	多様性や現代社会の諸問題について理解し対応しようと考察しているが、やや不足している	現代社会の諸問題について関心がなく、取り組めていない

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 インタロダクション <シラバスについての説明、評価基準についての確認、リテラシーの正しい意味と使い方>	シラバスを読み、授業の概要を確認しておく(リテラシーについて意識しておく) 事後学修: 振り返りレポート提出	30分
第2回 図書館の活用について <主体的に活用する方法を学ぶ>	事前学修: 大学の図書館の利用について確認しておく 事後学修: 振り返りレポート提出	20分
第3回 情報リテラシー・ITリテラシー・知財リテラシー【ネットワークの理解・Eメール活用・情報検索・知的財産の保護について学ぶ。】	事前学修: ネットワークの活用について調べておく 事後学修: 振り返りレポート提出	30分
第4回 社会人基礎力【アクティブラーニング】スピーチ・グループワーク等、目的をもって話す <スピーチ、ディスカッション>「社会人」と「働くこと」について考える、ビジネス文書を作成、ケーススタディ	事前学修: レポート作成自己紹介スピーチを考えておく 事後学修: 振り返りレポート提出	30分
第5回 プレゼンテーションについて学ぶ① <コミュニケーションとプレゼンテーションに関する基礎的な知識と能力を身に付ける>	事前学修: プレゼンテーションとは何か調べておく 事後学修: プレゼンテーションを実践するための内容を考えておく・振り返りレポート提出	60分
第6回 プレゼンテーションについて学ぶ② <プレゼンテーションを実践する>	事前学修: プレゼンテーション実施内容を考えておく 事後学修: プレゼンテーション資料提出	60分
第7回 アートリテラシー【教養としての創造的思考について】【アクティブラーニング】<芸術を理解し、奥に込められたメッセージを読み取る能力を知る。アートの視点をいかした創造的思考のサイクルについて学ぶ>	事前学修: アートプロジェクトとはどんなものがあるか調べておく 事後学修: 振り返りレポート提出	30分
第8回 SDGs促進へ向けた取り組みについて学ぶ・リテラシーについての学びのまとめ	事前学修: リテラシーについて、振り返り考えておく 事後学修: 振り返りレポート提出	30分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)もしくは事後の考察レポートをまとめることになる。

成績評価の方法・基準
定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。
提出課題(60%)・積極的な授業への参加状況(20%)・ワークショップやディスカッション内での課題発表(20%)を総合して評価する。
課題に対するフィードバック
レポート提出後、評価し返却。
教科書・参考書
教科書: 授業内のワークに使用。 ・学生のためのプレゼンテーション・トレーニング(実教出版)